

5月の学級づくり【小学校版】

5月に入り、慣れてくると、わがままや本音も表れ、人間関係をめぐっていざこざが起きる時期にもなります。休み時間など、子どもをよく観て、子どもの思いをよく聞き、トラブルの内容によっては学級の問題として子どもたちが主体的に考え行動するチャンスにしていくことも大事な学級づくりの第一歩です。



スタートして1ヶ月 子どものサインを見逃さない

入学や進級から一ヶ月、教師も児童も緊張したスタートを乗り越え順調に学級が動き始めて一安心、慣れが生まれる時期です。

順調に自分を表出し明るく楽しく生活している子どもたちにはほっとする時期でもあります。

しかし、その中で

- ・明るさがない。 ・笑顔がかたい。
- ・元気がない。 ・一人でいることが多い。

そんな子どもがいませんか。人間関係が上手に作れずに悩んでいる子どもたちのサインを見逃さず、先生と一緒に遊んで集団の中に位置づけてあげたり、たわいもない会話からその子の悩みを聞き出したり…サインに対するアクションをしていきましょう。

人間関係以外にも、学習内容の定着に不安がある。生活の忙しさに疲れを感じている。夜遅くまで起きていて生活のリズムが崩れている。などが考えられます。

一安心した雰囲気の中、子どもたちが発するサインを見逃すことなく教師も子どもも五月病にならないようにしましょう。

家庭学習への取組 困っている子どもへのアドバイス

1 「易しめ」「少なめ」から「継続」へ
慣れるまでは内容や分量を欲張らず、「易しめ」「少なめ」がポイントです。そして「よくやってきたね」「はっきりとした字で書かれているね」などの声かけをしていきましょう。この積み重ねが「継続」への意欲につながります。

2 「家庭生活を映す鏡」

中には、どうしてもやってくることのできない子どももいます。こんなときこそ、子どもとコミュニケーションをとるチャンスです。家庭学習の取組の様子は、その子どもの「家庭生活を映す鏡」です。「昨日は、何をして遊んだの?」「いつもご飯は何時ごろ食べるの?」など声をかけ、状況を把握したうえで、「それなら、ご飯を食べる前にできそうだね。今日は頑張ってみよう!」「そうだったんだね。それじゃあやる時間がないよね。今日は、先生と学校で一緒にやろうか。」などの声かけをしてみましょう。

3 「やってよかった」と思える場面を

「先生にほめられた」「テストで目標点が取れた」等、子どもが「やってよかった」と思える場面を必ずつくりましょう。

支援が必要な子どもの「つまずき」を支援するポイント 「注意の持続が難しい児童」

- ・ 掲示物や音、周囲の動きに敏感に反応していませんか? - 気になるものを無くしては
- ・ 集中できている時間はどのくらいですか? - 課題の量や時間を加減しては
- ・ 一度、気がそがれると活動に戻りにくいようですか? - さりげなく指差しや声かけで

日記の読み方 コメントをどう書くか

日記は、子どもと先生の心をつなぐキャッチボール。とても大切なものです。だから、配ったときに、すぐに見てみたくなのです。お家の方も楽しみにしているところがあります。

1 共感・賞賛!

子どもの思いや考えを、まず受けとるところから始めましょう。「書くことないよー」そんな声が聞かれるときもあります。だから、自慢したいこと、先生にほめてもらいたいことは思いっきり認めてあげたいですね。

2 ワンポイントアドバイス!

受けているばかりじゃキャッチボールになりませんね。先生の一言がその子どもの転換点になることもあります。

3 ところで・・・

子どもの視野を広げてあげる一言は、その子どもの新たな一面や可能性を広げることにつながるかもしれません。

4 言葉と文字は大切に

さすが先生! 赤い文字の一言が、子どもの心にきっとしみていきます。

自己有用感を感じる班活動のために

「班長になると仕事が大変」、「あの人と同じ班にならなかった」というつぶやきが出る班でなく、「自分はこの班の役に立った」、「この班にいてよかった」と振り返ることができる班活動にしていきたいですね。

1 全員が班の係をもつ

毎日の班生活の中で必要な係を決めてみましょう。清掃係、給食係、レク係、学習係・・・班長がすべてを行うのではなく、班全体を見てその係のバックアップや声をかけることのできる体制を整えます。

2 班会、係会を数多くもつ

班会は、給食の時間にもつことができます。1週間に1回は班の係会ごとに給食を食べ、そこで例えば班の様子を共有したり、クラスを向上させる取組を話合ったりして、翌日の給食時班会に提案するなど短時間で有機的に機能する班会、係会ができます。

3 楽しい企画を入れる

レク係だけが楽しいだけでなく、清掃の取組の向上を短学活で係が寸劇で発表するなど、どの係も楽しくなるような企画ができると係活動が楽しく自治的になります。